

鎌倉市緑の基本計画

持続可能な緑を目指して-グリーンインフラの考え方-

アクションプラン (令和 4 年度版)

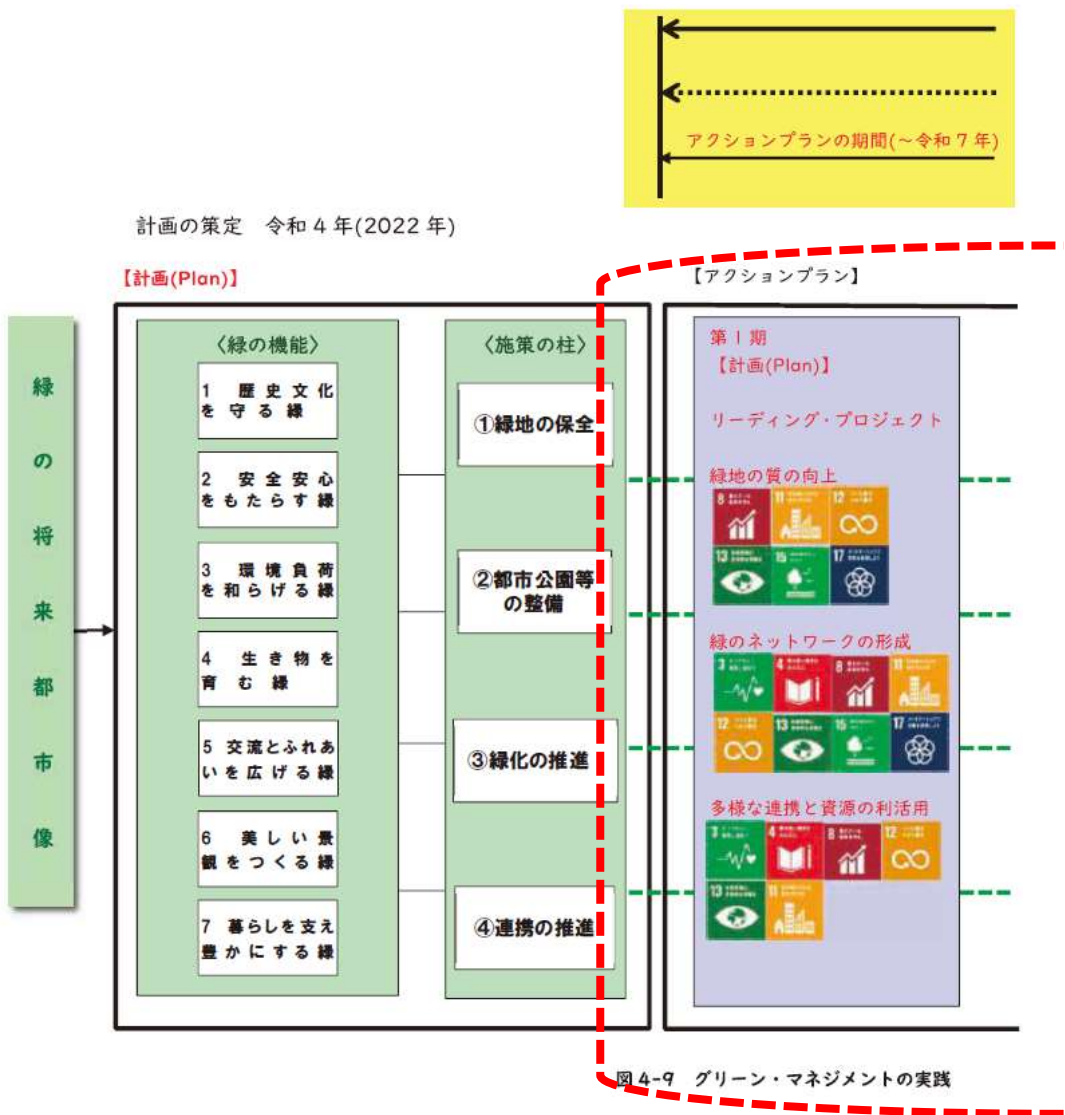
グリーン・マネジメント実践のための事業実施計画(第 1 期)

令和 4 年度～令和 7 年度(4 箇年)

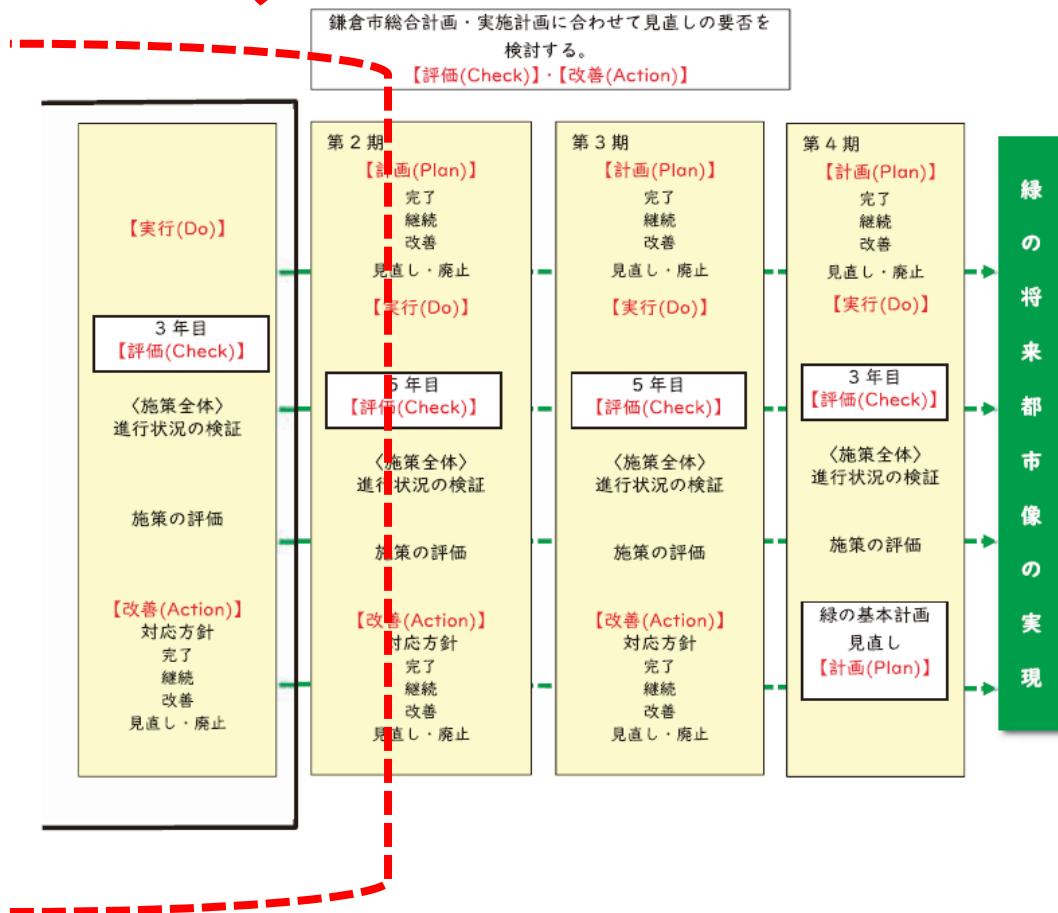
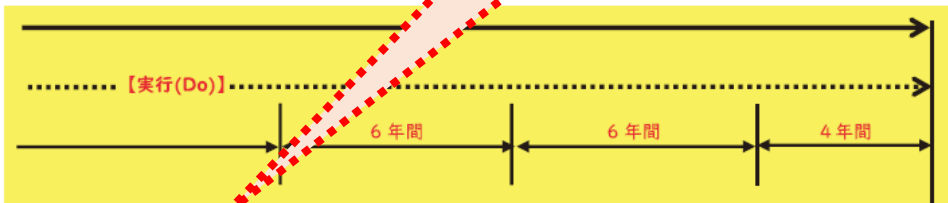
緑の基本計画実現のための施策を着実に実行するため、次の3つのリーディング・プロジェクトを基にしたアクションプランを定めます。令和7年度には、第2期(令和8年～13年度)アクションプランの検討を行います。

- (1) 緑の質の向上 – 災害に強い安全なまちづくりと環境負荷の低減を目指して –
- (2) 緑のネットワークの形成 – 豊かな市街地環境をつくる緑 –
- (3) 多様な連携と資源の利活用 – 共生の実現 –

図 グリーン・マネジメントの実践 鎌倉市緑の基本計画 102～103 ページから抜粋



令和7年度までの アクションプランを 定めます



(1)緑の質の向上

－災害に強い安全なまちづくりと環境負荷の低減を目指して－

①土地所有者の維持管理支援の強化

- 市内の樹林地の約6割を占める民有樹林地の維持管理を進めるため、民有緑地維持管理助成事業をはじめとした維持管理支援策を実施します。
- 災害発生の危険度を踏まえた樹林の整備目標、維持管理指針、技術的配慮事項について検討します。
- 維持管理における土地所有者、市民、行政の役割を分担し、国や県とも連携して支援体制を整えます。

森林の整備方針等に基づく

緑地の維持管理

市域の森林を維持管理していくための基本となる方針等を定めます。

緑の機能が発揮される維持管理を推進するため、市有緑地の維持管理を行います。

保存樹木等奨励補助金

風致の維持に寄与する美観的に優れた樹木・樹林・生け垣を保全します。



緑地保全契約奨励補助金

市街地内に残るまとまりのある緑地を保全・育成し、自然環境の保全と良好な生活環境を維持します。

市町村森林整備計画

地域森林計画の対象となる民有林を対象に、森林の整備に関する基本的事項等を定める、森林整備計画を策定し、運用します。

樹林管理事業

地域制緑地内の民有の樹林地を良好に管理するため、市が予算の範囲内で除伐・枝払い等の樹林管理を行うものです。

民有緑地維持管理助成事業

土地所有者が自ら行う緑地の維持管理活動に対して助成を行います。



【施工前】



【施工後】

②間伐などの積極的な手入れによる緑の機能の向上

- 間伐や大径化した樹木の若返り作業などにより二酸化炭素吸収・固定機能や環境負荷の低減に寄与する樹林地の維持管理を実施します。
- 生物多様性保全の考え方にに基づき、生物の生息・生育環境の多様化と有機的な組み合わせを図り、貴重種や重要種の保護、種の地域性の保全、外来種の防除に努めます。

緑地の管理指針の作成

- ・市域の森林を、生物多様性保全・土砂災害防止・二酸化炭素吸収機能維持・景観等の観点に立って、適正に保全し、維持管理していくための基本となる方針等を定めるものです。
- ・災害防止や生態系の保全再生等の機能が発揮される森づくりや維持管理を推進するため、市有緑地の維持管理を行います。

緑地環境調査

緑地の保全・再生に向けた取組を効率的に推進するため、その基本データとなる流域の自然環境の実態を把握するために行うものです。

確保緑地の適正整備事業

特別緑地保全地区及びその候補地で、放置することにより荒廃の恐れがある緑地を対象に、間伐・除伐・倒木処理等の維持管理作業を行います。



【施工前】

【施工後】

≪整備後に確認できるようになった生き物の例≫



ノウサギ



タヌキ



アオジ

③質の高い緑地空間の創出

- 利用に適した史跡・庭園・水辺地などの緑の資源を持つ緑地を、歴史文化や自然とのふれあいの場となる都市公園等として整備し、質の高い緑地空間を創出します。
- 地域住民と共に、市街地の緑化や身近な都市公園の再整備を行い、適正な維持管理を行うことでその質の向上を目指します。

まち並みのみどりの奨励事業

- ・鎌倉市まち並みのみどり奨励事業補助金交付要綱に基づき、市民などによる接道緑化を支援します。
- ・街路樹のある道路の沿道宅地の接道緑化など、既存の緑の存在効果を向上させることに配慮した制度の充実に努めます。



【施工前】

【施工後】

市民緑地認定制度

緑地保全・緑化推進法人や都市再生推進法人などの民間主体が、市民緑地の設置管理計画について市長の認定を受け、公園的機能を備えたオープンアクセスの市民緑地を設置・管理するものです。

都市公園等の整備

山崎・台峯緑地、(仮称)腰越2号緑地、山ノ内宮下小路緑地の都市緑地としての整備に向けた取組を推進します。

公園施設長寿命化計画

・既設の都市公園施設について、今後の老朽化の進行に対する安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減の観点から、予防保全的管理の下で、既存施設の修繕・更新などの長寿命化対策を計画的に行うものです。

・平成31年(2019年)3月に策定した「鎌倉市公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に公園施設の補修や更新等を行っていくものです。

(2) 緑のネットワークの形成 – 豊かな市街地環境をつくる緑 –

① 保全すべき緑地の確保、都市公園等の整備

- 市街地内に断続的に分布する樹林地について、緑地保全に係る法制度や市独自の制度を活用し、地域の環境と種の特性に配慮する等の生物多様性の保全の観点も踏まえ、適切に保全を図ります。
- グリーンインフラの視点を取り入れた浸水対策として、雨水の貯留機能や浸透機能を有する緑地や都市公園を保全・整備します。

特別緑地保全地区

- ・特別緑地保全地区の候補地における、指定に向けた取組を進めます。
- ・特別緑地保全地区に指定している市有緑地に対して、指定趣旨に沿った維持管理を推進します。

風致地区・保全配慮地区

- ・鎌倉市風致地区条例及び施行規則、鎌倉市風致保全方針に沿って、鎌倉市都市マスタープラン、鎌倉市景観計画の関連施策と整合を図りつつ、風致の維持・創出を図ります。
- ・緑の基本計画で保全配慮地区を設定し、市独自の緑地保全制度、市民が主体となる緑地保全・緑化への支援制度を活用し、地区内の環境の維持・向上を目指します。

② 民有地の緑化の支援

- 質の高い市街地の緑地空間を創出するために、市民と連携しながら、市全域で民有地の緑化を推進します。

まち並みのみどりの奨励事業

(再掲)内容は(1)を参照

③ 多様な主体との連携による身近な緑の保全及び緑化

- 市民が主体となる緑地保全や緑化の取組を支援し、連携を図ります。
- 民有地を含むまちづくり事業等と連携した緑化等を誘導します。
- 市民と共に建物敷地内の緑化を推進し、オープン・ガーデンなどにより民有敷地内の緑化とそれを公開する取組を支援します。

オープンガーデンの支援

緑豊かなまち並みの創造の一環として、市民が庭や敷地を自発的に緑化し、オープン・ガーデンとして公開することを支援するものです。



自主まちづくり計画

市民との連携による緑化・緑地保全の取組として、地域住民が一定の合意の下に緑化や緑地保全を含むまちづくりの提案等(都市計画法に基づく地区計画、都市緑地法に基づく緑地協定、鎌倉市まちづくり条例に基づく自主まちづくり計画等)を行うものについて、自発的な緑化・緑地保全への支援をするとともに、手続きを経た上で、当該緑地を保全すべき緑地とすることを検討するものです。

まちづくり空地

鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例に基づき、商業系地域・その他計画的な市街地整備を行う上で、特に重要な地区において開発事業を行おうとするときに、まちづくり空地を設置するよう誘導するものです。

市民緑地認定制度

まち並みのみどりの奨励事業

(再掲)内容は(1)を参照

緑のレンジャー・緑の学校講習会

公園・街路樹・市民緑地愛護会

(再掲)内容は(3)を参照

(3) 多様な連携と資源の利活用 — 共生の実現 —

① 緑地の維持管理の担い手の育成

- 緑地の維持管理に主体的役割を持つ緑のレンジャーを始め、市民や企業など幅広い人材を対象として、緑地の維持管理の担い手の育成を図ります。
- 教育機関と連携した緑のまちづくり事業を展開し、連携事業のノウハウの蓄積や、学生ボランティアの参加などによる担い手の確保を図ります。

公園・街路樹・市民緑地愛護会

公園愛護会、街路樹愛護会、市民緑地愛護会の育成に努め、それぞれの維持管理活動を実施します。

緑のレンジャー・緑の学校講習会

- ・緑のレンジャーの育成に努め、樹林地の管理活動やパトロールを実施します。
- ・市民との連携による緑地の保全及び維持管理を推進する上で、その受け皿となる実施・運営機能を備えた公的な市民団体の育成を図ります。
- ・緑のレンジャーの活動の場を広げ、地域に根付いた緑地管理支援組織として、緑地維持管理の担い手育成につなげていきます。
- ・地域のボランティアリーダーやコーディネーターの育成・配置を進めます。



② 緑とオープンスペースの積極的活用

- 地区公園、総合公園、風致公園、都市林などに加え、利用に適した地形条件や有する都市緑地を交流とふれあいの場として活用します。
- 身近な公園の質を向上させ、利便性の向上や利用者の増加を図ります。公園の再編整備計画を策定し、市街地の状況に応じた公園機能のバランスの改善、誰もが使える公園施設の導入など、市民のニーズを踏まえた新たな機能の導入等を進めます。

都市公園等の整備・公園の再編整備

- ・複数の公園が近接している地区での公園機能の転換や施設の集約化を検討します。
- ・市民の公園整備に対するニーズを踏まえ、公園施設の見直し等、公園の再整備の必要性を整理します。
- ・市民のニーズも踏まえながら、地域の特性に応じた身近な公園の適正配置、特色ある公園づくりなどを進めます。

③ 多様な主体との連携

- 緑のまちづくりにおいて企業との連携を図るため、まちづくり空地の整備などの既存の制度に加え、公募設置管理制度（Park-PFI）や市民緑地認定制度などの新たな制度の導入を検討します。
- 民有緑地の維持管理を推し進める手法の一つとして、間伐材等の利活用を土地所有者や市民、事業者等と共に検討します。
- 緑地保全を軸として、市民等に加えて、教育・研究機関や行政内部の他事業との連携を図ります。

Park-PFI

- ・飲食店や売店等の利用者の利便につながる収益施設の設置と、その収益を活用して公園施設の整備・改修を一体的に行う者を、公募により選定する制度です。
- ・これにより、都市公園に民間の投資を誘導し、公園管理者の財政負担を軽減しつつ、都市公園の質の向上と公園利用者の利用の増進を図るものです。

まちづくり空地

(再掲)内容は(2)を参照

市民緑地認定制度

緑地の管理指針の作成

(再掲)内容は(1)を参照

公園の再編整備

(再掲)内容は②を参照

事業一覧表

樹林管理事業	事業費(想定)	R4	26,290,000円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	26,290,000円
(1)緑の質の向上		R6	26,290,000円
		R7	26,290,000円

森林の整備方針等に基づく緑地の維持管理	事業費(想定)	R4	87,909,000円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	87,909,000円
(1)緑の質の向上		R6	87,909,000円
		R7	87,909,000円

保存樹木等奨励補助金	事業費(想定)	R4	13,974,269円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	13,974,269円
(1)緑の質の向上		R6	13,974,269円
		R7	13,974,269円

緑地保全契約奨励補助金	事業費(想定)	R4	7,624,260円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	7,624,260円
(1)緑の質の向上		R6	7,624,260円
		R7	7,624,260円

民有緑地維持管理助成事業	事業費(想定)	R4	52,562,000円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	52,562,000円
(1)緑の質の向上		R6	52,562,000円
		R7	52,562,000円

確保緑地の適正整備事業(市民の身近な森づくり事業)	事業費(想定)	R4	3,000,000円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	3,000,000円
(1)緑の質の向上		R6	3,000,000円
		R7	3,000,000円

まち並みのみどりの奨励事業	事業費(想定)	R4	949,000円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	949,000円
(1)緑の質の向上		R6	949,000円
(2)緑のネットワークの形成		R7	949,000円

都市公園等の整備	事業費(想定)	R4	55,134,000 円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	55,134,000 円
(1)緑の質の向上		R6	55,134,000 円
		R7	55,134,000 円

特別緑地保全地区	事業費(想定)	R4	0 円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	0 円
(2)緑のネットワークの形成		R6	0 円
		R7	0 円

街路樹・市民緑地愛護会	事業費(想定)	R4	1,400,000 円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	1,400,000 円
(2)緑のネットワークの形成		R6	1,400,000 円
(3)多様な連携と資源の利活用		R7	1,400,000 円

緑のレンジャー・緑の学校講習会	事業費(想定)	R4	1,698,400 円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	1,698,400 円
(2)緑のネットワークの形成		R6	1,698,400 円
(3)多様な連携と資源の利活用		R7	1,698,400 円

都市公園等の整備・公園の再整備	事業費(想定)	R4	0 円
〈リーディング・プロジェクト〉		R5	0 円
(3)多様な連携と資源の利活用		R6	0 円
		R7	0 円

※事業費については、令和4年度の予算額を想定として記載しています。このため、年度ごとの実際の予算額は、市の財政状況により変動する可能性があります。

リーディング・プロジェクトの計画指標を次のように設定します。

グリーン・マネジメントによる緑の将来都市像の実現に向けた取組を通じて、この指標の数値を上向きに推移させていくことを目指します。

計画指標は、令和3年度(2021年度)の実績値を基準値として、年度ごとの推移を取りまとめ、年度ごとに評価を行います。令和7年度には、第2期(令和8年~13年度)のアクションプランの検討に伴う、計画指標の見直しを行います。

(1) 緑の質の向上 – 災害に強い安全なまちづくりと環境負荷の低減を目指して –

○市有緑地は、緑地維持管理計画に沿って災害リスクの高い緑地での危険木等の伐採を行います。

計画指標	危険木の伐採、枝払いの本数				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
240本					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

○民有緑地維持管理助成事業を進め、適正な維持管理が行われている樹林地を増やします。

計画指標	適正な維持管理が行われた樹林地の面積(竹林を含む)				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
約50.0ha					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

○緑地を保全することにより、二酸化炭素の吸収源を確保します。

計画指標	CO2吸収量 (緑の基本計画、表4-1の②の係数を用いて、歴史的風土特別保存地区、近郊緑地特別保全地区、特別緑地保全地区の面積から算出する。)				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
1,143.8トン-CO2					
(計算式)1.54トン-CO2/ha・年(係数)×742.7ha (係数は国土交通省 低炭素まちづくり実践ハンドブックによる)					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

○公園・緑地を整備することにより、二酸化炭素の吸収源を確保します。

計画指標	CO2吸収量 (緑の基本計画、表4-1の④の係数を用いる。本市では、街区公園等における樹木の本数把握が難しいため、風致公園、都市林、都市緑地、市有緑地を対象とし面積から算出する。)				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
3,836.1トン-CO2					
(計算式)15.73トン-CO2/ha・年(係数)×243.87ha (係数は国土交通省 低炭素まちづくり実践ハンドブックによる)					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

(2) 緑のネットワークの形成 – 豊かな市街地環境をつくる緑 –

○緑地の保全が確実に担保されている、地域制緑地の指定を進めます。

計画指標	歴史的風土特別保存地区、近郊緑地特別保全地区、特別緑地保全地区の指定面積の合計				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
約 742.7ha					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

○市民等が利用する公園等の整備を進めます。

計画指標	供用している都市公園、児童遊園、青少年広場等の合計面積				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
約 165.86ha					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

○まち並みのみどりの奨励事業により民有地の緑化を支援します。

計画指標	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化延長				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
77.4メートル					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

(3) 多様な連携と資源の利活用 – 共生の実現 –

○市民が主体となる緑の取組を支援します。

計画指標	公園・街路樹・市民緑地愛護会、緑のレンジャー、緑の学校の活動件数及び参加者人数				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
2,138日 21,320人					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

※緑のレンジャー(ジュニア)及び緑の学校は、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しました。

○都市公園の老朽化等に対応し、機能の見直しや施設の更新を行います。

計画指標	機能の見直しや施設の更新を図った公園数				
令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	評価(↑→↓)
9箇所					
〈評価〉 (令和5年度から記載します。)					

緑の取組に関する指標（鎌倉市市民意識調査）

- 「豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、鎌倉市民がみどりとふれあえるまち」だと感じている割合

計画指標		「とてもそう思う」、「少しそう思う」と回答した人数の割合					
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	評価(↑→↓)
60.7%							
〈評価〉 （令和5年度から記載します。）							

※令和4年7月現在、令和3年度のデータを公表していないため、参考として令和元年度のデータを記載しています。